

大湾区情報 No. 63

グレーターベイエリア情報 発行：2023年7月18日



【今号のトピックス】

以下のリンクをクリックすると各記事のトップに移動します。

[【「港車北上」スキーム正式スタート 一方向あたり一日1万台以上の車両通行可能】](#)

[【香港証券取引所、香港ドルと人民元の2通貨カウンター・モードがスタート】](#)

[【香港返還26年、広東省香港間貿易は年平均5.7%成長】](#)

【「港車北上」スキーム正式スタート 一方向あたり一日1万台以上の車両通行可能】



「港車北上」スキームが7月1日よりスタートしました。条件を満たした香港の乗用車所有者は、事前に認可と予約の手続きをすることで香港ナンバープレートを付けた自家用車で、香港・珠海・マカオ大橋（以下「港珠澳大橋」）の珠海高速道路ボーダー経由で、広東省に入ることができるようになりました。

港車北上スキームは、大湾区の発展を促進し、香港が中国全体の発展のためのよりよい統合を支援するために、中央政府が取った重要な政策の一つです。以前は、香港居住者が車で中国本土に乗り入れたい場合は、広東省と香港の両方の

ナンバープレートを申請、取得する必要がある、申請の壁は比較的高いものでした。スキーム実施後、香港居民は、**18 歳以上**で香港居民が中国に出入境のために使用する「回郷証」（正式名称「港澳居民来往内地通行证」）を所持していれば、香港で本人名義の乗用車の臨時入境用のナンバープレートを申請することができます。香港の約 **45 万人**の自動車所有者がこのスキームの恩恵を受けることが可能になります。

本スキームでは、香港の乗用車は一時入境用のナンバーの有効期間内であれば中国本土に入境する毎に最大連続 **30 日間**滞在することができ、年間の累積滞在日数は最大 **180 日**となっています。

本スキームは、香港市民が短期間の親族訪問、ビジネス、観光のために広東省に行くための新しいチャンネルを提供します。香港の運輸物流局局長（Transport and Logistics Bureau）である林世雄氏は、このスキームは香港人の中国本土に対する理解と知識を高めるだけでなく、大湾区全体への香港市民の統合を促進すると述べました。

ボーダー処理能力の向上 一日の一方向あたりの処理能力は1万台を超える

これに先立ち、今年 **1 月 1 日**にはマカオの「澳車北上」スキームがスタートし、現時点で港珠澳大橋の珠海高速道路ボーダー経由して、中国出入境するマカオナンバープレートを付けた乗用車数は延べ **40 万台**を超えました。

一国二制度の枠組みの下、広東省、香港、マカオが共同で建設した初のメガ越境インフラ施設として、港珠澳大橋は大湾区の相互接続のための重要なチャンネルとなっていました。港珠澳大橋の珠海高速道路ボーダーは、港車北上と澳車北上スキームに指定された唯一のボーダーです。現在、当ボーダーにて出入境する旅客数は **3,000 万人**を超え、今年 **5 月**時点で、当ボーダー経由の輸出入総額は **6,390 億**人民元に達しました。

港珠澳大橋の珠海高速道路ボーダーは、出境・入境のために各 **22**の乗用車レーンを備えており、設計上の **1 日**のボーダー処理能力は一方向あたり **8,700 台**となっています。昨年より珠海市はワンストップシステムに多くの改良を実施し、

ボーダー手続き能力を強化しています。最新の推計データによると、現在のボーダーの一方向あたりの処理能力は1時間あたり約550台となっており、1日平均のボーダー処理能力は約13,000台に増加しています。

交通サービス最適化 駐車システムのアップグレード

交通業務サービスの面では、珠海市は交通警察支隊車両管理事務所に「香港・マカオ車両業務オンラインセンター」と、港珠澳大橋交通警察大隊にサービス窓口を開設し、香港・マカオ居民が一時入境ナンバープレートの申請、中国本土運転許可証の申請および更新、交通事故・交通違反処理などの相談サービスを提供しています。

珠海市は、高速道路に乗り入れる香港・マカオのみのナンバー車両の需要を考慮し、管轄する高速道路の有人料金所レーンに香港・マカオのナンバープレート情報をマニュアルで入力する機能をすでに導入しており、自動識別装置のアップグレードを積極的に実施しています。さらに、交通部道路ネットワーク検査センターもETC普及プログラムの検討・策定に向けた取り組みを急いでいます。

また、車の所有者にとって、いかに便利に駐車が行えるかは大きな関心事になります。珠海市は駐車施設建設のための特別プロジェクトを計画し、香港とマカオのみのナンバープレートの番号を識別する機能の普及を促進し、景勝地、学校、病院、ホテル、公共の文化施設やスポーツの施設におけるスマート駐車システムを推進しています。

同時に珠海市は、公共駐車場の建設計画、道路の全面的改良、駐車などの静的交通資源の活用、路上駐車スペースの設置などを通じて、都市部の駐車スペース供給不足を補う努力を進めています。これまでに、約9,600台分の公共駐車スペースが新たに整備されました。

【香港証券取引所、香港ドルと人民元の2通貨カウンター・モードがスタート】



「香港株が人民元で取引可能になりました」この朗報は、香港株式市場参加者が待ち望んでいたものでした。6月19日、香港証券市場で「香港ドル・人民元2通貨カウンター・モード」と「2通貨カウンター・マーケットメーカー・メカニズム」が正式に開始されました。

香港証券取引所の共同最高執行責任者兼株式証券部門責任者（Co-Chief Operating Officer & Head of Equities）の姚嘉仁氏は2通貨カウンター・モードについて「香港株式市場は香港ドルと人民元の2つのカウンターを設け、両通貨の株式を別々に分けて取引することとなります。これにより、価格差を縮めるために投資家がカウンターを自由に切り替えることができます。つまり、投資家は同じ上場会社の株式を香港ドル建てでも人民元建てでも購入することができます」と説明しました。

初回の香港株24銘柄の承認リストには、上場する企業体が中国本土の企業が大半で、テンセント・ホールディングス、比亞迪（BYD）、中国平安保険、中国海洋石油などとなっています。インターネット、金融、自動車、エネルギーなどの業種をカバーし、ハンセン銀行、新鴻基地産（Sun Hung Kai Properties）などの香港企業も含まれています。

データによると、取引終了時点で、初回の香港株の 24 銘柄の人民元建てカウンター
の合計取引高は約 1 億 6,300 万人民元で、そのうち中国移動（China
Mobile）、テンセント・ホールディングス、中国平安保険の 3 銘柄が取引高のト
ップ 3 に入っています。

「香港市場にとっては大きなプラス」

「今までは香港株を買うためには、まず香港ドルに両替しなければならなかつ
たが、今では人民元カウンターを通じて直接取引できるようになり、為替コスト
と為替リスクが大幅に削減され、香港株への投資がより便利になり、香港市場に
とって大きなメリットとなります」中泰国際（ZTSC）アナリストの顔招駿氏は、
この新たな措置の導入は香港株式市場の市場参加者に広く歓迎されており、反響
は圧倒的であると話しました。

顔招駿氏の分析によると、人民元カウンターの追加開設を申請する香港株企業
は、時価総額と流動性の要件を満たす必要があります。そのため、24 社のほと
んどはブルーチップ（優良株式銘柄）及び香港ストックコネクットのターゲットで
あり、日々の取引が比較的活発で、香港の株式市場のメインボードの 1 日の総
取引高の約 40%を占めていると述べられています。

また、今回新たに導入されたマーケット・メーカー・メカニズムも、2 通貨カ
ウンター・モードの大きな特徴です。「規模が大きい市場参加者を人民元カウ
ンターのマーケット・メーカーへ招聘し、双方の取引に相場を提供します」と姚嘉
仁氏が説明しました。また「その利点は、2 つのカウンターの間の価格差を縮小
し、人民元カウンターに継続的な流動量を提供することで、投資家が取引をする
対象を提供します」とも述べました。現在、中銀国際（BOC International
Holdings）や中金香港（CICC Hong Kong）など、中国と外国の証券会社 9 社が 2
通貨カウンター・マーケット・メーカーとなっています。

2 通貨カウンター・モードは段階的に展開され、今後さらに多くの証券が受け
入れられ、2 通貨カウンター証券リストに追加される予定です。投資家について
は、開始当初は主に香港の現地投資家や海外投資家が対象で、中国本土の投資家
は当面、香港ストックコネクトを通じて参加できないが、新しいモデルは将来的

には香港ストックコネクトを通じて中国本土の投資家が香港に上場している人民元建て証券を取引できるよう初期準備作業を進めます。

人民元の国際化のさらなる推進

「人民元建て香港株は、一方では香港株式市場により多様な資金を呼び込み、国際金融センターとしての香港の地位を強化するのに役立ち、他方では人民元の国際的地位をさらに高めることができます」。香港の経済学者でシルクロード智谷研究院（China Silk Road iValley Research Institute）の院長である梁海明氏はこのように述べました。

梁氏の見解では、香港は世界最大のオフショア人民元市場であるものの、人民元建ての金融商品はそれほど多くなく「世界的なオフショア人民元ビジネスハブの利点を発揮し、中国本土との相互接続などの金融協力を強化し、人民元建て金融商品の国際市場の促進・形成に注力する必要がある」と述べています。

梁氏はさらに、香港から視点のみにとどまらず「世界の金融資産取引の規模はすでに商品取引の規模を上回っており、世界の金融資産の人民元建てすることを推進すれば、国際舞台における人民元の影響力を拡大するのにより効果をもたらすだろう」と説明しました。

【香港返還 26 年、広東省香港間貿易は年平均 5.7%成長】



今年には香港の中国返還 26 周年の年であり、香港は広東省対外貿易の重要な国際中継地として、広東省対外貿易の安定的な発展にとって、長い間重要な役割を果たしてきました。税関総署広東支局によると、1997 年の香港返還以来、広東省香港間の貿易は急速に発展し、その貿易額は 1997 年の 2,798.5 億人民元から 2022 年には 1.1 兆人民元となり、年平均成長率は 5.7%となっています。

2023 年 1 月～5 月の広東省香港間貿易の四大特徴

今年 1 月～5 月において、広東省香港間の貿易は安定、改善し、より高い回復力を示しました。データによると、広東省香港間貿易には以下の 4 つの特徴がみられます。

- 1) 広東省香港間の対外貿易がマイナスからプラスに転じ、1 月～5 月の貿易額はプラス成長を達成した。今年 1 月から 5 月まで、広東省の対香港輸出入額は 3,752.1 億人民元と前年同期比（以下同）0.4%増となり、1 月から 4 月の 0.2%減からプラスに転じた。5 月において広東省の対香港輸入、輸出、輸出入はすべてプラス成長を達成し、輸出入は 764.2 億人民元で 2.7%増加となり、輸出は 738.4 億人民元で 0.8%増加、輸入は 25.8 億人民元で 115.5%の増加となっている。

- 2) 民間企業の輸出入が際立っている。民間企業は広東省と香港間の貿易輸出入の成長を牽引する主力となっており、1月～5月において、民間企業の輸出入は**11.6%**増加し、広東省香港間貿易の**45.5%**を占めている。
- 3) 集積回路と宝飾品の輸出が急成長している。今年に入ってから、香港経済は大幅に改善し、小売業も回復しているため、香港へのコンピュータ関連製品と宝飾品の輸出は順調に伸びている。1月から5月までの広東省の香港へのコンピュータ関連製品輸出は**38.8%**、宝飾品輸出は**38.7%**増加した。
- 4) 消費財、医薬材（漢方の生薬を含む）、医薬品、農産物の輸入が急成長している。広東省では香港の消費財と医薬材の需要が増加しており、今年1-5月の輸入消費財は2倍、医薬材、医薬品は**69.7%**、農産物は**71.9%**の増加となっている。

これらは、多くの通関円滑化措置によるものでもあります。

例えば、珠海の湾仔税関では、医薬品の輸入のための一連の税関円滑化措置を策定し、様々な医薬品の特性や保管・輸送要件に焦点を当て「即検査・即出荷」の「グリーンルート」を設置し、さらに「事前申告」や「船側での直接引き取り」等の改革措置の推進により、税関での医薬品通関がスムーズに行われるように全力を尽くしました。今年1月から4月にかけて、湾仔税関は総額5億人民元を超える**688**ロットの医薬品輸入通関を実施しました。

香港 CEPA の署名から 20 年 「メイド・イン・ホンコン」の恩恵顕著に

今年「中国本土と香港の経済連携緊密化協定」（以下「香港 CEPA」）の調印 20 周年でもあります。過去 20 年間にわたり、香港 CEPA は「一国二制度」の特徴を備え、両地間の経済貿易協力分野を包括的にカバーするハイレベルな自由貿易協定として、深圳と香港の経済貿易相互運用の重要な力となり、互いの強みを補完し、持続的かつ急速な経済成長を牽引してきました。

深圳税関の統計によると、今年5月末現在、過去20年間に深圳のボーダー経由で香港に輸入されたCEPA商品の総額は346.8億人民元で、30.2億人民元の関税が軽減されました。香港CEPAの恩恵を受けた商品の年間輸入額は、2004年の2.6億人民元から2022年には23.4億人民元と8倍に増加し、中国全体のCEPA商品総額の30%近くを占め、全国1位となりました。

香港CEPAの継続的かつ綿密な実施により、「メイド・イン・ホンコン」は大きな恩恵を受けており、対象となる商品の範囲は、2004年の関税コードベースで374品目から2022年には8,858品目に拡大し、約23倍に増加していることが分かりました。このうち、74品目は深圳税関域内で実際輸入する際において関税ゼロを享受し、プラスチック、医薬品、食品など香港の伝統的な優位産業が最も恩恵を受け、恩恵を受けた商品額はプラスチック約117.3億人民元、医薬品80.4億人民元、食品37.8億人民元に達し、全体の約70%を占めます。全体的に見ると、今年になり中国本土と香港のボーダーが全面的に再開された後、広東省と香港の貿易は急速に回復しており、外国企業の信頼も高まっています。中国内経済の持続的な回復と海外消費の回復により、広東省香港間の貿易は今後徐々に良い方向に発展することが予想されています。

【参考資料】

- ・「港車北上」スキーム正式スタート 一方向あたり一日1万台以上の車輛通行可能
- ・香港証券取引所、香港ドルと人民元の2通貨カウンター・モードがスタート
- ・香港返還26年、広東省香港間貿易は年平均5.7%成長

青葉【WeChat公式】のフォローをご希望の方は、
右記のQRコードから登録をよろしくお願いいたします。
(WeChatアプリにて、QRコードをスキャンしてください。)

[大湾区ニュースレター特集ページへのリンク](#)

また「大湾区情報」だけでなく、中国、香港のニュースや最新制度
情報もWeChatの公式アカウントに掲載しています。



=====
[最新ニュースページ](#)で過去に発行したニュースレター、及び香港・
中国本土最新ニュースをご覧になれます。

ホームページと共に、SNSでも随時情報を発信してまいります
ので、是非ともフォロー、いいね！をお願いいたします。



質問等お問合せ先

青葉監査法人・青葉ビジネスコンサルティング・青葉法律事務所
担当: 新井 茂 <s.arai@aoba.com.hk>

=====